

# 鷹山宇一記念美術館友の会会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

平成26年6月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会  
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



北村西望 「春風」 年不詳・ブロンズ

「自らをかたつむりと称した

彫刻家 北村西望」

今年の干支にちなんで、現在展示中の作品から馬の像を制作した北村西望をご紹介します。北村西望は、明治17年に長崎県南高木郡南有馬村出身の彫刻家です。

力強い男性像を得意とし、長崎にある平和記念公園の平和記念像を制作した彫刻家として御存知の方も多いのではないでしょうか。

世界で初めて粘土を使用せずに像を作る「石膏直付け法」を考え出したことでも有名です。

百二歳で亡くなる日まで現役で創作に励んでいた西望ですが、若い頃はなかなか賞に恵まれず、彫刻家をやめてしまおうかと思つた時期もあったそうです。

西望の俳句に、

たゆまざる 歩み恐ろし かたつむり

というものがありますが、

これはある夜、足元にいた2cm程の大きさの「かたつむり」が翌朝見ると、10mもある像の頂上にながっていた姿を見て感動した西望が自分の半生を思い、作つた俳句です。

西望は他の人にくらべ、なにか自分だけが特別すぐれた力を持つていたとは一度も思つたことがなかったそうです。

ただこつこつと、亡くなる日まで制作を続けた姿から自らが例えた「かたつむり」という生き方をうかがい知る事ができるようなそんな気がします。

(学芸員 奥山庸子)

# 鷹山宇一記念美術館友の会

## 平成26年度通常総会



議案審議風景

鷹山宇一記念美術館友の会平成26年度通常総会が平成26年6月14日午後2時から開催され、平成25年度事業報告、貸借対照表並びに収支計算書承認に関する件、平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件、友の会設立20周年記念事業に関する件等の全ての承認議案が原案の通り可決されました。総会資料を別添の通り同封致します。

総会では、任期満了に伴う理事・監事の改選が行われ理事1名が交代致しました。また、総会終了後行

われた役員会において会長、副会長が再任され、本年度の事業体制が整いました。本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 鷹山宇一記念美術館友の会

#### 設立20周年記念事業について

平成26年は、鷹山宇一記念美術館友の会設立20周年の記念すべき年です。友の会の役員会で検討を重ね次の7事業を記念事業として計画し、既に実施済みの事業も含め、総会で承認されましたのでご紹介致します。

#### 友の会設立20周年記念事業

- 1、鷹山宇一絵画購入資金の寄付(実施済)
    - ・財団からの要請があり、平成23年度総会において、百万円を寄付。
  - 2、鷹山宇一画集の購入
    - ・本年度発行予定の鷹山宇一画集を400部購入(全会員に配布)
  - 3、会報特別号の発行
    - ・全40頁、内20頁カラー。平成26年12月発行予定。
  - 4、会報合本の発行
    - ・会報第38号と第77号迄の合本発行(150部・有償頒布)
  - 5、美術図書贈呈
    - ① 国宝の美(全50巻)(朝日新聞出版)
    - ② 日本美術全集(全20巻)(小学館・創業90周年記念企画)
  - 6、県内外美術館研修旅行(実施済)
    - ・「出雲大社、足立美術館等山陰美術紀行」
- 平成25年9月17～19日

- 7、第6回海外美術館紀行(実施済)
  - ・「サンクトペテルブルク・パリ美術紀行」平成26年5月9日～5月16日(7泊8日)

#### お願いとお知らせ

☆鷹山宇一記念美術館では、平成26年7月19日(土)から9月15日(月)(59日間)まで、「日本近現代洋画への旅」展を開催いたします。友の会会員の皆様方には監視ボランティアのご協力をお願いしたいと存じます。

☆友の会の本年度の県内外研修旅行は、「青森県立郷土館」ドールハウス展 in 青森/棟方志功記念館「花鳥図」倭画の魅力」展(平成26年7月27日・日帰り・貸切バス利用)、「宮城県立美術館」生誕200年ミレー展「愛しきものたちへのまなざし」・「仙台市博物館」樹木礼賛「日本画に描かれた木と花の美」(平成26年11月9日・日帰り・東北新幹線利用)を計画いたしましたので多くの会員のご参加をお願い致します。

#### 平成26・27年度

新役員	紹介
会長	盛田 駿造(再任)
副会長	奥山 雅子(再任)
事務担当	戸部 榮一(再任)
会報担当	照井 壽一(再任)
理事	小川 美奈子(再任)
理事	川村 愼子(再任)
理事	山下 美子(再任)
理事	附田 豊寿(再任)
理事	山本 洋一(再任)
理事	工藤 喜代子(再任)
監事	高田 晃一

画伯「鷹山宇一」が所属した  
美術団体二科会の変遷

ある作家曰く。

「絵は想像力であり、個性である。そして、色彩や形でできた感覚的な言語である。この言語が共鳴し、意気投合すれば、集団が生まれる。やがて、各人が共通の理念を支え切れなくなると、解散する。これは、正に美術運動の宿命と呼んでもよい」と。

この観点から鷹山宇一が所属していた美術団体二科会の動向を注視すると、興味津々なことが分かってくる。

昭和期美術展覧会出品目録戦前編（東京文化財研究所編、中央公論美術出版）には、二十三歳の鷹山宇一が昭和六年九月三日から十月四日まで東京府美術館において開催された第十八回二科展に「街ノ上」や「風景と鳥」など木版四点を出品し、第九室に展示されていたと記されています。第二十回展では、「生レ出ヅ」や「地ヲ離レザル花」が、第二十一回では、「焦

燥」ほか二点が、第二十二回展では、「長恨衣」が第九室に展示され、画風を極める先達である東郷青児の作品「海濱」や「月光」なども同じく第九室に展示されていたと記載されています。

何故、鷹山宇一や東郷青児の作品が一期期同じ第九室に展示されたのか、その訳を知りたいという思いに駆られました。



「20回展 生レ出ヅ」

そのためにも先ず、二科会の変遷について正しく捉えておくことが肝要だと考えました。



「20回展 地ヲ離レザル花」

大正初めには、画家の登竜門の一つとして重要な存在であった文展の体質に不満を持った有島生馬や梅原龍三郎らは新しい美術の確立を標榜して大正三年、旧科「文展」に対する新科「二科会」を結成し、安井曾太郎、熊谷守一、湯淺一郎などが続いて参加したそうです。以後、二科会は常に新傾向の作風を吸収して岸田劉生、佐伯祐三、林武、古賀春江、藤田嗣治、松本竣介、岡本太郎、東郷青児など美術史上欠かすことのできない多くの著名な芸術家を輩出してきてきたと言われています。

次に、都会的な抒情性を帯びた幻想絵画を描き、「超現実主義」として脚光を浴びた東郷青児や古賀春江らの作品が第九室にまとめられて展示されたことに因んで、

昭和十三年十月に東郷青児と藤田嗣治を顧問とする第九室会を発足させ、合計二十九名により創立総会が行われました。最盛期には四十五名を数えたそうです。三十歳の鷹山宇一も参加したのは当然のことだと思えます。彼らは、二科会から脱退して新団体を結成した訳ではないそうです。あくまでも二科会内部の研究団体として活動を行い、作風として幾何学的抽象やシュルレアリスムなど、多様なものであり、こうした新傾向の多くの画家たちが二科会を母胎として巣立っていきました。そして、新たに誕生した美術団体には、有島生馬や安井曾太郎らによる一水会、熊谷守一や宮本三郎らによる二紀会、鈴木信太郎らによる一陽会などがあります。

故郷が輩出した画家たち

萬鉄五郎は、岩手県和賀郡東和町（現花巻市）に生まれました。大正五年第三回二科展に「もたれて立つ人」を出品しました。東京美術学校の卒業制作「裸体美人」は重要文化財となっています。特に黒田清輝らのアカデミックな画風が支配的であった日本洋画

界に当時の前衛絵画の考え方を導入した先駆者としての功績は特筆すべきものがあります。

深沢紅子は、岩手県盛岡に生まれました。大正十四年、第十二回二科展に「花」ほか一点を初出品し、女性で唯一の入選となりました。その後、一水会創立に参画し、川原に咲く野の花、野の花のような優しい女性を生涯描き続けた画家でした。

棟方寅雄は、青森県弘前に生まれました。大正十一年、岸田劉生に師事し、昭和二十九年まで二科会に所属していました。会友として数多くの入選を果たしました。昭和三十年、一陽会創立に参加し、画壇で活躍するともに、詩人としても鬼才を発揮しました。

常田健は、青森県浪岡に生まれました。昭和十四年第二十六回二科展で「ひるね」が入選しました。東北の大地に力強く生きた人々の真実の姿を追い求めた画家でした。

館長 舩山 義郎

お知らせ

七戸町立鷹山宇一記念美術館  
開館二十周年記念式典を八月三日  
午後二時から執り行います。

画業40年記念

黒井健

絵本原画の世界展

会期中のしそいし

開館20周年記念、春の特別展として開催いたしました「黒井健絵本原画の世界」展ですが、お陰様をもちまして6,411人も多くのお客様にご来館をいただきました。今年には天気にも恵まれ、小さなお子様からご年配の方々まで多くの年代の方が時には懐かしみ、時には空想にひたつたりといった様子が見かけられました。

会期中は友の会はもとより、七戸町文化協会、県立七戸高等学校をはじめとする団体・個人のお力添えを賜り、開催式や視聴ボランティア活動等、本展事業にご協力をいただきました。

この場を借りて御礼申し上げます。

開催式・サイン会



サイン会の様子。サインには何と直筆のイラスト付き!! ▼ ▶

テープカットの様子  
右から3人目が黒井先生 ▶

祝 5千人突破!!



お陰様で6月24日に5,000人目のお客様を迎えることができました。



4月25日天間館中学校の生徒38人が見学にやってきました。

黒井健先生の  
絵本原画展  
鑑賞しました  
おめでとう



展覧会初日の4月9日に開催式及びサイン会を行い、多くのファンが黒井先生に会うため美術館を訪れました。

5月1日(木)開催  
黒井健先生の  
絵本原画展  
鑑賞レポート

report

開館20周年記念、春の特別展として開催いたしました「黒井健絵本原画の世界」展ですが、お陰様をもちまして6,411人も多くのお客様にご来館をいただきました。今年には天気にも恵まれ、小さなお子様からご年配の方々まで多くの年代の方が時には懐かしみ、時には空想にひたつたりといった様子が見かけられました。

# 新職員のご紹介



平成26年4月から教育普及員として採用されました千葉友瑛と申します。これからよろしくお願ひ致します。八戸工業大学第二高等学校・美術コースを卒業後、岩手大学教育学部に進学し美術の技術と美術教育について学んできました。高等学校では絵画、大学では陶芸を学びました。絵芸では茶碗や花器などを制作していました。少しでも自分の学んできたことを活かし、美術館に貢献できるような努力していきたいと思ひます。

私は三沢市出身ですが、両親が七戸町出身であり、両親が七戸町に住んでいたので七戸町はとて身近な場所だと感じております。

鷹山宇一記念美術館には第4回鷹山児童作品展の中学生の部で鷹山賞を

頂き大変お世話になりました。受賞させて頂いたことで、絵を描くことに自信を持ち、大学で美術を学ぶほど美術が好きになったのだと思ひます。

採用にあたり、受賞した当時のことや制作時のことを思い出しました。採用されてから自分の作品が保管されていること、展示される機会があったことを知り、嬉しくもあり恥ずかしくもありです。しかし、作品を覚えていらつしやる方や、私自身に見覚えがあるとおつしやつて頂けたことにお大変嬉しく感じております。七戸町の美術館でも美術出来たのなら、祖父も美術館で絵を観ることもできる。そう考え応募した作品がその後多く知らないと、多くの方の目に触れているのを嬉しく感じ、美術館の大切な意味を改めて感じていきます。

皆様どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

## 次回企画展のご案内

# 日本近現代洋画への旅

鷹山宇一作品と山岡コレクションを中心に、7月19日(土)〜9月15日(月・祝日)迄

本展では、幻のコレクションと言われる山岡コレクションから、幕末・明治の巨人と称される高橋由一の描いた油絵を中心に日本近代洋画を代表する巨匠達の作品と、当館所蔵作家で明治から平成を画業一本で生きぬいた洋画家鷹山宇一の作品をあわせてご紹介いたします。

江戸時代後期から明治時代にかけて、西洋の写実的な表現に魅了された日本人の画家たち。油絵を描く道具や指導する人間すら満足にはない時代に、彼らがどのようにに師を得て技法を追求し、今日の日本の美術へと繋がっていったのか。その一端を知る機会となればと願ひ、本展を開催いたします。

## 入館料

一般	850(650)円
高校・大学生	400(320)円
小中学生	200(160)円

\* ( )内は前売券、15名様以上の団体、県民カレッジ受講者、JAF会員割り料金  
\* 前売券は、7/18迄美術館窓口及び下記にてお求めいただけます。

ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、サークルKサンクス各店

JTB 商品番号 0237580



高橋由一  
「鮭図」

お話の会「ゆりかご」  
代表 諏訪 道子



## \*お話の会「ゆりかご」

平成15年、子供達の豊かな心を育むための読書活動を推進することを目的に結成し今年で11年目です。高校生から60代まで男性2人を含む個性豊かな11人のメンバーです。保育園、小学校での読み聞かせ、公民館での春、夏、クリスマス、冬のお話会や高齢者対象のお話会、又、県立美術館でのおはなしフェスタ参加等の活動を行っています。

# 美術館日誌

## ◇ 4月 ◇

1日(火) 辞令交付式4日(金) 看視ボランティアのお願い(七高へ) 館長、西野教育普及員、千葉教育普及員 出張5日(土) 開館20周年実行委員会7日(月) 七中入学式(館長出席) 10日(木) 看視ボランティア説明(七高へ) 西野教育普及員、千葉教育普及員出張12日(土) 友の会監査(美術館2F) 19日(土) 黒井健 絵本原画の世界展開催式・黒井健サイン会20日(日) 七彩会油画教室 開催25日(金) 天間館中、見学のため来館(生徒38名、教員3名)

## ◇ 5月 ◇

1日(木) 絵本読み聞かせ(美術館・スペイン館)。エーデルワイスの会打ち合わせ(美術館) 2日(金) RAB取材10日(木) 理事会18日(日) つつじ祭観光ツアー 20日(火) 野辺地高校インターシップ打ち合わせ(美術館) 22日(木) 七戸十和田駅開業効果活用推進委員会(七戸支庁舎) 館長出席25日(日) 七彩会油画教室開催。評議員会26日(月) おいらせ町児童館、見学のため来館27日(火) 八戸市立市川公民館、見学のため来館(50名) 28日(水) 3館連携打ち合わせ(美術館)。観光協会役員会(七戸庁舎) 館長出席

## ◇ 6月 ◇

3日(火) 消防点検(昭和電気) 10日(火) 天間東小、見学のため来館(生徒10名、教員2名) 14日(土) 友の会総会(美術館2F) 15日(日) 七彩会油画教室開催17日(火) 19日(木) 野辺地高校インターシップ(生徒1名来館) 29日(日) WS牛乳パックで和紙をつくろう開催(美術館2F)

## 5/1(木) 絵本の読み聞かせ

この日は、七戸町内で活躍する図書ボランティア、お話の会『ゆりかご』さんによる、絵本の読み聞かせが行われました。七戸近隣の保育園児・幼稚園児たち、総勢一七七名が来

館し、読み聞かせを楽しんでいました。プロの技が光る読み聞かせに、園児たちも真剣になつたり、大笑いしたり夢中です。読み聞かせの後は、黒井健の原画の世界を堪能し、かわいっころわんやガチョウたちにすっかり魅了されています。うでした。(西野)



## 美術館コンサートのおしらせ

国際的に活躍する  
たぐいまれな音の詩人

(12年前にも当館で演奏会を開催しています。あの感動をふたたび!!)

おおはぎやすじ

## 大萩康司ギターリサイタル

繊細で澄んだ

ギターの音色を道案内に

秋の夜長をご一緒にませんか

と き 2014年10月12日(日)  
開場 6:00 p.m 開演 6:30 p.m  
入場料 一般前売3,000円 当日3,500円  
高校生以下 500円  
会 場 鷹山宇一記念美術館  
主 催 エーデルワイスの会  
共 催 公益財団法人 鷹山宇一記念美術振興会  
後 援 七戸町教育委員会 他  
リサイタル等  
問合せ Tel0176-62-5858

※当日会場準備のため午後3時で一旦美術館はクローズしますので、ご了承ください。

友の会設立20周年記念  
第6回友の会海外研修旅行  
『サンクトペテルブルク・パリ  
美術紀行』参加の皆さんから一言

奥崎文子さん「思わぬ体調不良となり  
ましたが、皆様のお陰で美術館、夏  
の宮殿やパリを楽しむことが出来、  
忘れられない旅となりました。有難  
うございました。

奥山雅子さん「初めは不安でしたが、  
とても楽しい旅でした。特にオペラ、  
バレエに感動しました。

工藤敦子さん「こんなに楽しい旅にな  
るなど……。次の企画をなんて！  
催促します。

小泉孝恒さん「エルミタージュ美術館  
『黄金の間』の金ピカに感動。  
小泉久美子さん「スパスイーパー！ロシ  
ア。ビールでカンパイ!!



サンクトペテルブルク エルミタージュ美術館

小林光子さん「青森のマダム。世界  
へ一步？」

小向 慎さん「美術館友の会恒例の食  
事の美味しい旅行。家に帰ってから  
の体重が気になっていますが、文殊  
菩薩以上の智慧と気力をお持ちの素  
晴らしい仲間とご一緒できたことは、  
最大の喜びでした。

佐々木寿夫さん「美しきスワンレイ  
クの感動がしみじみ残る 白夜の  
ネヴァ河

佐々木壽美子さん「新世界発見の旅で  
した。いろんな人に出会えて嬉しい  
です。有難うございます。

下山恭美子さん「世情の不安定な国へ  
の旅行は多少心配ではありましたが、  
重厚な歴史を感じさせられる建造物  
の街並みや本場のオペラ、バレエの  
鑑賞は最高の感動でした。

杉沢深雪さん「楽しかった旅！でも、  
東京着にホッとする自分がいた。頭  
も脚もパンパンになり、素晴らしい  
芸術を堪能するには体力が万全!!  
を実感した。エルミタージュと千円  
で三個の響きが脳裏に残る。ミスマ  
ッチ!!がまた楽し!

田名部妙子さん「広大すぎる美術館、  
宮殿、寺院。素晴らしいの一言。で  
も案内人のアレクサンドリアさんの  
言った「ピョートル大帝は、洗濯女  
を選択した」のジョークは忘れられ  
ない。

戸館榮一さん「エルミタージュ、宮殿、  
オペラ、バレエと堪能しました。  
パリの迷宮をまたまた探検したくな  
りました。

戸館洋子さん「初めましてサンクトペ  
テルブルク。そして、こんにちは、

パリ。旅っていいですね!!

長尾貞子さん「初めてのサンクトペテ  
ルブルク。新緑でしたが青森よりち  
よつと遅い春でした。街中は前々日  
(五月九日)のドイツ・ロシア終戦  
記念日でパレードがあったとのこと  
で、旗で彩られていました。美しい  
街でした。美術館や宮殿、オペラ、  
バレエ等本当に内容の濃い旅でした。  
中野久子さん「二年ぶりの海外美術館  
を巡る旅行。とても楽しみでした。  
特にサンクトペテルブルクの美術館  
や宮殿、オペラ、バレエ等。夢の世  
界の旅でした。

中村昭雄さん「次回もチャンスがあれ  
ば参加したいなあ!。  
中村規和子さん「楽しい八日間でした。  
次はどこかな?  
中村初子さん「パリの空の下のハプニ  
ングもまた楽しい旅の思い出です。  
中谷知子さん「一度は見たいものと想  
っていた「エルミタージュ」。企画  
してくれた方々に感謝しています。  
山田陽子さん「初めてのオペラ鑑賞に  
感激!マリインスキー劇場の中では  
中世の貴婦人の気分を味わいました。  
山口和也さん「パリ帰りのタクシーに  
難儀の三人を救ったのは!続きを読  
みたい?新規会員募集文パリ宝塚百  
周年友の会二十年おめでとうハイ  
クオリティな舞台や旅を誉メルシイ

ついにヨーロッパ!!

七戸町 工藤敦子

鷹山宇一記念美術館友の会の会員

の特典に研修旅行がある。ヨーロツパ  
ともアジアともいえない不思議な国ロ  
シア・花の都パリが二十周年記念事業  
海外旅行研修地となった。他国語の一  
つ出来ぬ事も忘れ早速申し込んだ。  
ついにヨーロツパなのです。しかも  
世界三大美術館と名高い「エルミター  
ジュ」と「ルーヴル」の二大美術館。  
なんとラツキなことか。

冷戦時代の暗いイメージを抱いてい  
たが過去のもの。サンクトペテルブル  
クは素晴らしい街である。ネヴァ河の  
河畔に三百万点の名作収蔵のエルミタ  
ージュ美術館、水色と白のコントラス  
トに金箔をあしらったエカテリーナ宮  
殿、黄金の彫刻、無数の噴水、そして  
樹々美しい広大で豪華絢爛な庭園のピ  
ョートル大帝夏の宮殿、華麗なモザイ  
クと玉ねぎ型屋根が美しい教会等々。  
無駄にホテルで過ごすなど勿体ないと  
オプシヨンにも参加した。肌で感じた  
声の波オペラ、「フィガロの結婚」。

「白鳥の湖」生誕の本場のバレエと十  
分に鑑賞できた魅惑的な二夜。劇場を  
出れば、そこは幻想世界白夜であった  
泥沼地に人工的に建設された街の四日  
間に別れを告げた。

六日目パリへ。美術品の迷宮のよう  
な「ルーヴル」。館内は人・人・人。  
それでも「モナリザ」の前に立った時  
には思わず合掌していた。

パリ市中のマロニエ香る花の下でコ  
ーヒーを飲む、それも優雅に?飲む。  
(密かな思いが叶ったのである。)

事務局の企画英断に感謝、感謝。ロ  
シアには千載一遇のチャンスであった  
気がしてならない。みなさんお陰様  
有難うございました。

# 「平成26年度国内美術研修旅行のご案内」

平成26年度友の会研修旅行をご案内致します。

平成26年度 第1回研修旅行  
 日時:平成26年7月27日(日)  
 9:00 七戸南公民館出発～美術館経由  
 16:00 美術館～七戸南公民館着  
 研修先:棟方志功記念館  
 ～花鳥図～倭画の魅力[解説付き]  
 青森県立郷土館～小さな夢の世界・  
 ミニチュアハウスへようこそ～  
 ”ドールハウス展 in 青森”  
 参加費:3,000円(入館料、昼食代、交通費含む)  
 募集人員:先着35名(最少催行人員15名)  
 申込期限:平成26年7月19日(土)  
 申込先・問い合わせ先:鷹山宇一記念美術館  
 詳細日程は、参加者にハガキで連絡いたします。



○本場欧米での楽しみ方から、日本独自に発展したジャパニーズスタイルのドールハウスまで、人気作家による80点の個性溢れる夢の世界を楽しめます。「太宰治生家・斜陽館」を制作し展示予定。  
 (パンフレットから引用)  
 ○棟方志功記念館では、《夏の特別展》を解説付きで鑑賞。

平成26年度 第2回研修旅行  
 日時:平成26年11月9日(日)  
 研修先:宮城県立美術館・仙台市博物館  
 参加費:3,500円(入館料、昼食代含む。交通費別)  
 募集人員:先着20名(最少催行人員10名)  
 申込期限:平成26年9月30日(火)  
 申込先・問合せ先:鷹山宇一記念美術館  
 ○10月上旬に説明会を開催します。



ミレー《子どもたちに食事を与える女(ついでみ)》リール美術館蔵

○宮城県立美術館  
 《誕生200年ミレー展》  
 初期から晩年までの作品で家族の肖像や生活の情景を描いた作品に焦点を当てることで、ミレーの作品世界の新たな広がりを楽しめます。(パンフレットから引用)  
 ○仙台市博物館  
 《特別展・樹木礼賛》  
 屏風、掛け軸、浮世絵、絵巻物などにより、日本人と樹木の関わりを紹介。国宝「雪松図屏風(右隻)」丸山応挙筆も展示

## 友の会会員登録の更新と新規会員登録入会お誘いのお願い

平成25年度も会員の皆様には、友の会運営に多大なお力添えをいただき、誠に有り難う御座います。  
 新年度も鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様にご協力をお願いするよう研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。  
 平成26年度更新手続きは、美術館窓口と郵便振替により行っておりますのでよろしくお願ひ致します。

### ○友の会の事業内容

- ①県内外美術館研修視察旅行(年2～3回)
- ②海外美術館研修旅行
- ③美術館作品購入基金への協力
- ④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力
- ⑤会報の発行
- ⑥その他(美術講演会の開催等)

### ○一般会員

年会費 3千円  
 (個人)  
 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引き

### ○特別会員

年会費 1万円  
 (個人・法人)  
 ①一般会員特典に加えて

### ○賛助会員

- 年会費 2万円  
 (個人・法人)  
 ①一般会員特典に加えて  
 ②新規加入の方に画集1冊贈呈  
 ③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

★お知らせ  
 会費の納入は随時受け付けておりますが、10月1日以降に新規会員登録の方は、翌々年度の3月31日までの会費となります。

★お便り募集中  
 文字数 1,200字以内  
 募集締切 26年8月31日(日)  
 友の会設立20周年記念会報特別号へのお便りをお待ちしています。

★編集後記  
 友の会第75号をお届けいたします。周年という記念すべき年の発行に特別号の発行に特別な思いを込めて、皆様のご協力を、皆様に心からお願い申し上げます。  
 (照井)